

令和 7 年度 第 7 回

宍粟市教育委員会

# 会 議 録

(要点筆記)

日時 令和 7 年10月14日 午後 4 時から

場所 宍粟市立総合教育センター 研修室

## 第7回（定例）宍粟市教育委員会会議録

### ● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和7年10月14日（火） 午後4時～4時45分

兵庫県宍粟市波賀町安賀232-1 宍粟市立総合教育センター 研修室

### ● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

中川まゆみ 委員

平田恵子 委員

事務局

大砂正則 教育部長

鳥羽千晴 教育部次長

大谷哲也 次長兼教育総務課長

中田 吏 学校教育課長

川本正史 こども未来課長

清水将道 社会教育文化財課長

大田貴久 施設整備課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

岩本浩二 教育総務課副課長

### 1 開会

中田教育長が開会した。

### 2 会議の成立宣言

出席者数4名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

### 3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、片山委員に決定した。

### 4 前回会議録の承認

令和7年度第6回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件  
前回の会議録について、大谷次長兼課長が説明し、承認された。

### 5 教育長報告

次の3点について、中田教育長が報告した。

#### （1）アイアンサイド小学校との親善交流会について

波賀小学校とオーストラリアのアイアンサイド小学校との親善交流会が9月26日、27日に行われました。1日目は、波賀小学校でアイアンサイド小学校訪問団32名の歓迎式が行われました。歓迎式では双方の小学生たちが歌やパフォーマンス、プレゼント交換などを行い、式のあとには給食をともにして親しく交流することができました。2日目は、習字や昔遊び

などの体験活動を通して、言葉や笑顔でさらに交流を深めました。波賀小学校のPTAや地域の皆さんのご協力のもと、子どもたちは忘れられない貴重な経験ができました。

## (2) 宍粟市部活動地域展開推進委員会の実施について

先月の教育委員会で報告いたしました宍粟市部活動地域展開推進委員会設置要綱に基づき、第2回の推進委員会が9月29日に開催され、宍粟市部活動地域展開推進方針が決定しました。また、地域展開に向けて、地域クラブの募集や活動に関する課題の協議が行われました。この後担当より説明いたします。

## (3) 令和8年度保育所・認定こども園・幼稚園等の園児募集について

令和8年度の保育所・認定こども園・幼稚園の園児募集が始まります。今年度、認定こども園として認可申請中でありました私立保育所である誠心保育園が、令和8年度よりこども園として認可されましたので、今回、新たに認定こども園として園児募集を行います。また、あずかり保育と学童保育についても募集が始まります。詳しくは、この後担当より説明いたします。

## 6 協議報告事項

### (1) 宍粟市内小中学校で認知したいじめ事案について

1～3Pにより、中田課長が説明した。

### (2) 宍粟市部活動地域展開について

4～64Pにより、中田課長が説明した。

### (3) 令和7年度「理科おもしろ実験教室」について

65～66Pにより、中田課長が説明した。

## 委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

いじめ事案の件につきまして、中田課長の分析のとおりだと思います。各校で細やかな対応をとられてきたことが認知件数の増につながっていると思います。特に2ページ2番の教師が認知をしたものについて、昨年度が21件ですが本年度42件と倍になっています。今までこの教師が発見し認知していく部分が少し弱いと感じていましたが、本年度については教師による認知件数が非常に増えているということで、教員の児童生徒に対する細かい配慮がこの件数として表れていると思います。また、3ページになりますが、せっかく教員がしっかりといじめ対応・細かな指導を行ったにもかかわらず、謝罪後も生徒自身の収まりがつかず再び事案が発生したケースですが、思春期を迎えている生徒たちは自分の心の揺れ動きをコントロールしにくく、特に難しい部分があると思います。こういった難しい案件ですが、3ページの10番のところで「いじめを行った生徒に対して、いじめを行った気持ちや状況などを十分に聴き、背景にも目を向け成長を支

援する視点を持ちながら指導を行うことを全職員で共有した。」と報告があり、とても大切な視点を持って、いじめ対応・指導をされていると感じました。今後大変ですが、教員の皆さんに頑張っていただきたいと思います。

次に、部活動の地域展開について、資料やアンケートをまとめられるのは大変だったかと思います。アンケートの回答には保護者からの辛らつな意見・厳しい意見もあり、なお大変だったかと思いますが、これから委員会で協議を重ねていく間に、少しずつ意見等が絞られていき、また、保護者も子どもたち中心の思いに変わっていくと思います。引き続きよろしくお願いします。

また、理科おもしろ実験教室については、去年は講師の上橋さんが非常に面白い実験をされたと子どもを通じて聞きました。実験器具をいただいたようで、帰ってくるなり、「こんな勉強をしたんや。」と見せてくれました。子どもたちの興味・関心が高まる実験だったようで、とても良い授業だと思います。

(中川委員)

部活動の地域展開のことで「中学校での説明会は開催されていますが、まだ詳しい説明はありません。どうなるのか不安です。」との意見があります。現時点ではどのような説明をされているのか、教えていただければと思います。

(中田課長)

新入生の入学説明会にかぎらず、広報での周知、また、先ほどお伝えしました中学生の座談会を一般の方にも見に来ていただけるように考えています。今後、どこかのタイミングで、各校の校長とも相談しながら、中学校の広報にも定期的に情報を掲載し、保護者の方の目に触れるよう進捗状況をお知らせしていかなければならないと考えています。関係課とも調整しながら、適宜、情報を発信していきたいと思っています。

(4) 令和8年度 幼稚園・保育所・こども園の園児募集について

67～68Pにより、川本課長が説明した。

(5) 令和8年度 あずかり保育・学童保育の児童等募集について

69Pにより、川本課長が説明した。

(6) 小中学校屋内運動場空調設備整備事業について

70Pにより、大田課長が説明した。

(7) その他

なし

委員の主な意見及び事務局の説明

(中田教育長)

幼稚園、こども園幼稚園部の受付期間と、保育所・こども園保育園部の受付期間に違

いがありますが、これはどういった理由からでしょうか。

(川本課長)

まず保育所・こども園保育園部につきましては、申込要件があり、就労の状況その他の要件についてこども未来課で審査を行っています。申込人数が多いこともあり、その審査に時間を要するということで長めに期間をとっています。ただ、幼稚園・こども園幼稚園部につきましては、申込要件が年齢しかなく、審査事務が煩雑ではないこともあり、2日間で取りまとめを行っているところです。

また、幼稚園・こども園幼稚園部については、10月に最初の取りまとめを行います、その後も随時募集は行っており、定員が超えない限り入園していただけます。

## 7 次回会議の招集について

令和7年11月14日（金）午前9時から、一宮市民協働センターにおいて、令和7年度第8回  
穴栗市教育委員会を開催することとした。

## 8 閉会

片山委員が閉会した。